

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2026 年 第 41 週（10 月 5 日～10 月 11 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし		
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	6 人	類型
			患者 1 人、 無症状病原体保有者 5 人
			血清型
			O157 1 人、O103 2 人、不明 3 人
四類感染症	レジオネラ症	5 人	病型
			肺炎型 5 人
五類感染症	急性脳炎	8 人	病原体
			インフルエンザウイルス A 型 8 人
	後天性免疫不全症候群	1 人	病型
			無症状病原体保有者
	侵襲性肺炎球菌感染症	1 人	
	水痘（入院例）	1 人	病型
			検査診断例
	梅毒	20 人	病型
			早期顕症Ⅰ期 5 人、早期顕症Ⅱ期 9 人、 晩期顕症梅毒 1 人、 無症状病原体保有者 5 人
	百日咳	8 人	年齢階級
			0 歳 1 人、1-4 歳 1 人、 10 歳代 1 人、20 歳代 1 人、 30 歳代 2 人、50 歳代 2 人

＜定点把握疾患の患者情報＞

インフルエンザ（19.66→20.99：図 1-1～3）の定点当たり報告数は、前週と比較してわずかに増加した。年齢階級別では 14 歳以下の報告が全体の約 63%であった。基幹定点におけるインフルエンザ（入院）の報告数は 33 人（前週 41 人）で、年齢階級別では 65 歳以上が全体の約 52%であった。新型コロナウイルス感染症（3.10→2.85：図 2）の定点当たり報告数は、前週と同水準であった。基幹定点における新型コロナウイルス感染症（入院）の報告数は 8 人（前週 9 人）であった。RS ウイルス感染症（1.31→1.85：図 3）の定点当たり報告数は、シルバーウィーク前の第 38 週の 1.62 を上回った。年齢階級別では 1 歳以下の報告が全体の約 69%であった。ヘルパンギーナ（1.20→1.92：図 4）の定点当たり報告数は、前週と比較して増加し、例年の同時期より高い水準にある。基幹定点報告疾患の一つであるマイコプラズマ肺炎（図 5）は 23 人（定点当たり報告数 1.92）の報告があり、多い状況が続いている。急性呼吸器感染症（96.81→110.15：図 6）の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎 3 人、流行性角結膜炎 15 人の報告があった。その他の基幹定点報告疾患では、クラミジア肺炎 1 人の報告があった。

○全国の感染症発生動向に関する情報は、国立健康危機管理研究機構（JHS）感染症情報提供サイト（URL：<https://id-info.jhs.go.jp/>）で御覧になれます。

<インフルエンザ流行情報>

図 1-1 インフルエンザの定点当たり報告数の推移

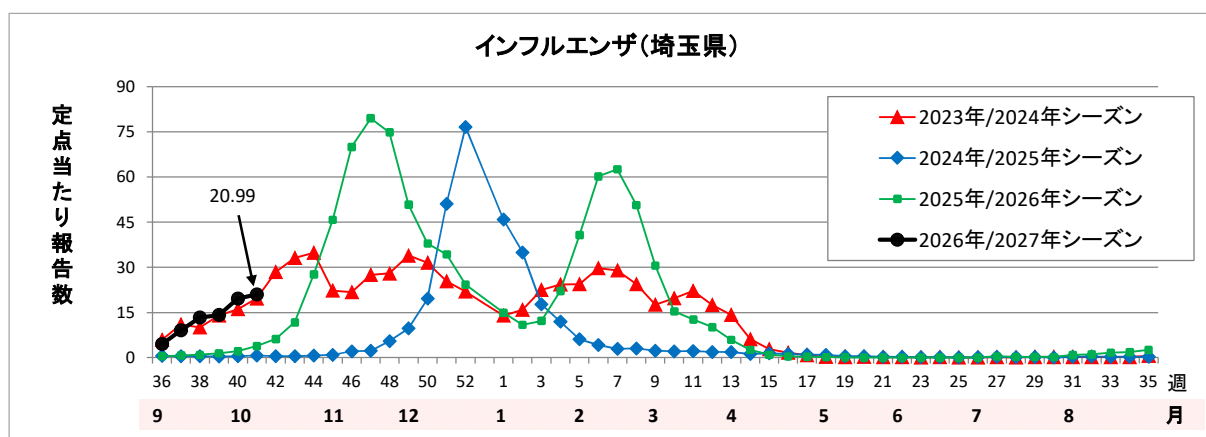
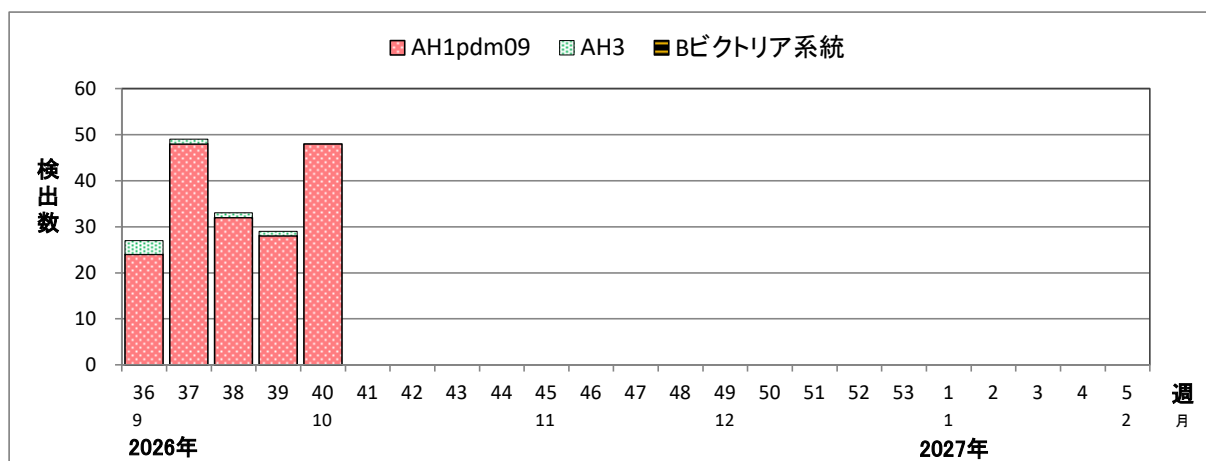
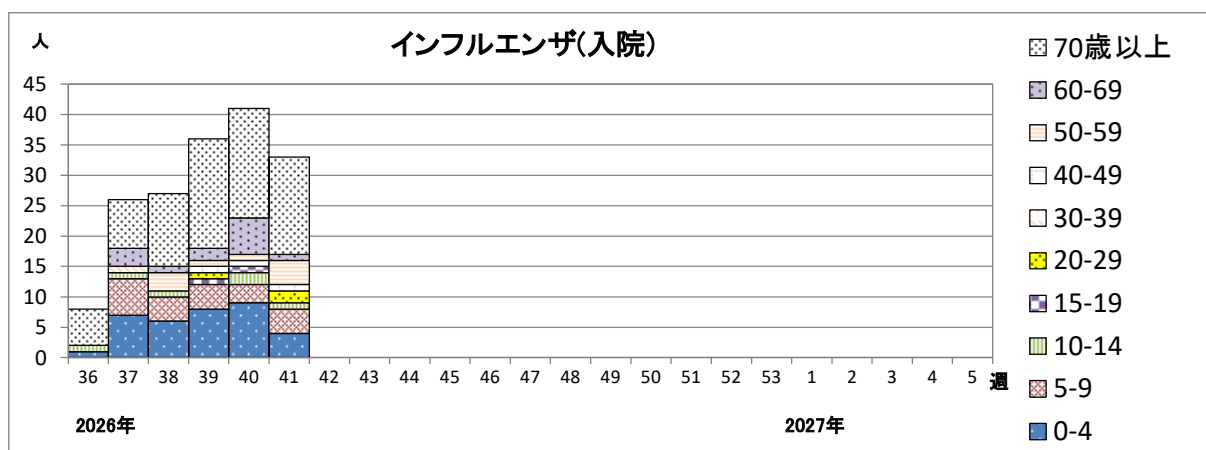


図 1-2 インフルエンザウイルスの週別検出状況



2026年第38週～第40週（2026年9月14日～10月4日）の3週間に採取された急性呼吸器感染症のうち、インフルエンザウイルスが検出され、その型別が終了した110検体は、AH1pdm09型が108件（98.2%）、AH3型が2件（1.8%）でした。

図 1-3 インフルエンザ（入院）の年齢階級別報告数の推移



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

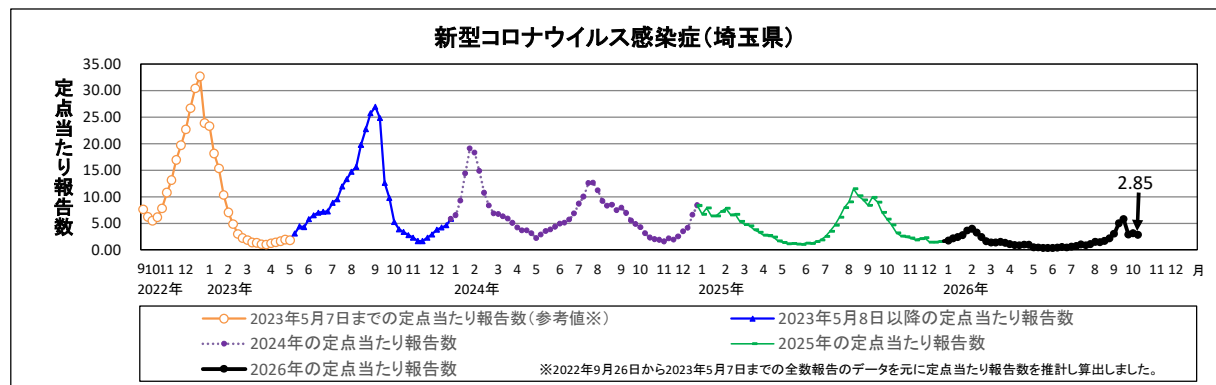


図3 RSウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

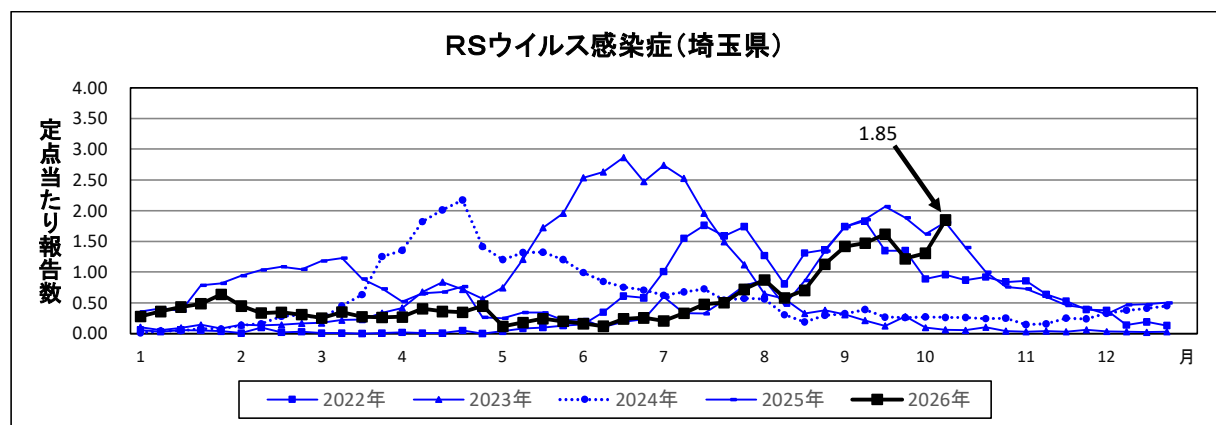


図4 ヘルパンギーナの定点当たり報告数の推移

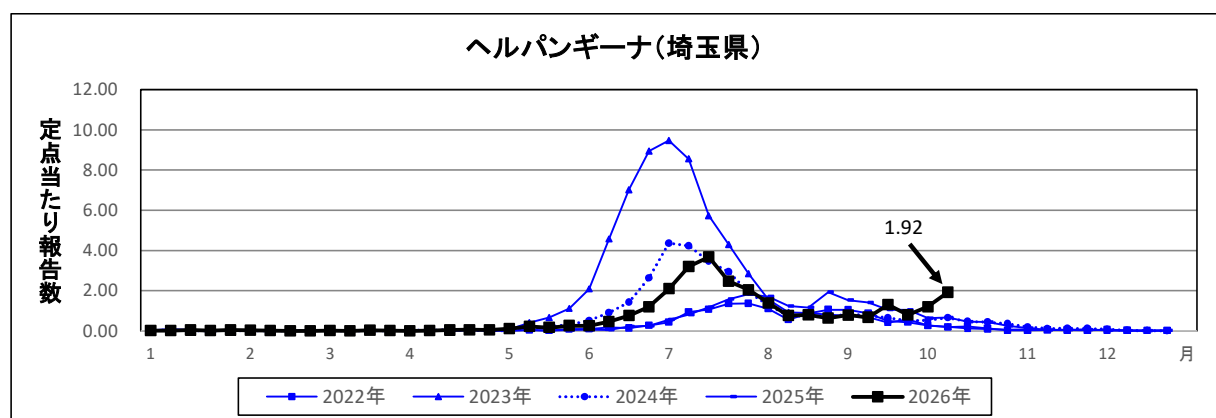


図5 マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数の推移

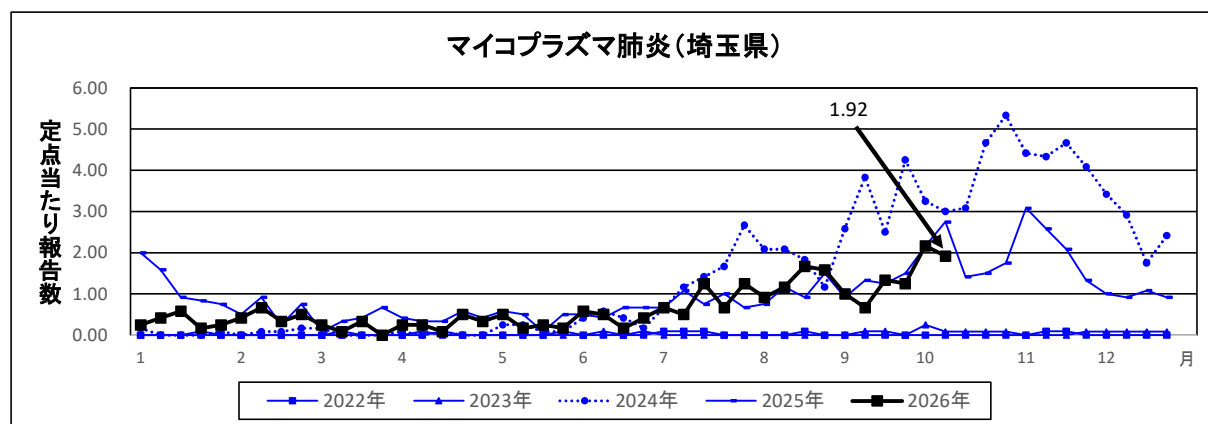
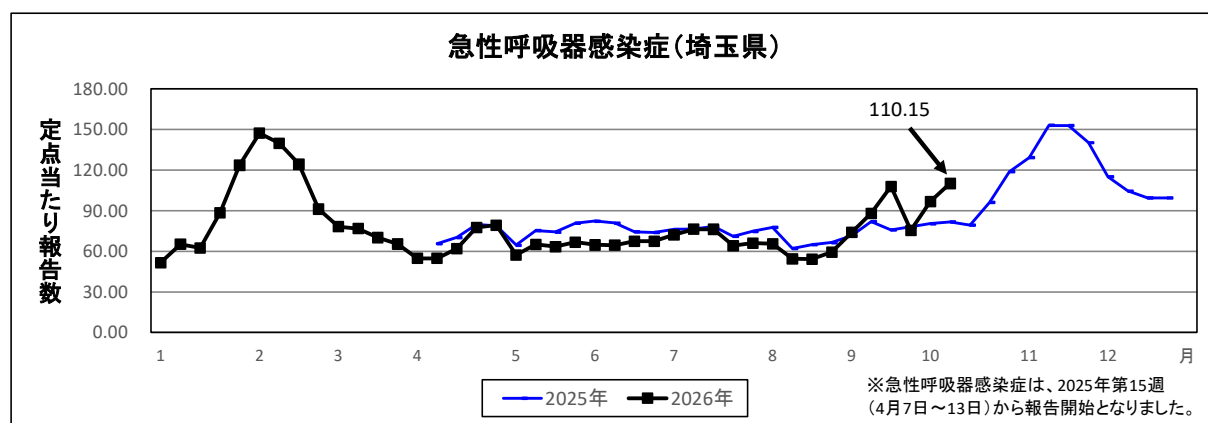


図6 急性呼吸器感染症の定点当たり報告数の推移



急性呼吸器感染症における病原体検出状況は以下のページに掲載しています。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/ari-surveillance.html>

感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第41週)

(2026年10月13日 15:15集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核 * 1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		3
細菌性赤痢		2	パラチフス		1
腸管出血性大腸菌感染症	6	152			
四類感染症					
E型肝炎		56	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		18	ニパウイルス感染症		
エキノкокクス症			日本紅斑熱		
エムボックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		1
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	5	128
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		1	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		26	水痘(入院例に限る)	1	20
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		13	先天性風しん症候群		
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		37	多剤耐性緑膿菌感染症		2
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		2	梅毒	20	394
急性脳炎	8	58	播種性クリプトコックス症		5
クリプトスポリジウム症			破傷風		5
クロイツフェルト・ヤコブ病		4	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		44	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1
後天性免疫不全症候群	1	31	百日咳	8	357
ジアルジア症			風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症		30	麻しん		40
侵襲性髄膜炎菌感染症		2	薬剤耐性アシネトバクター 感染症		1
侵襲性肺炎球菌感染症	1	84			

累計は診断週で集計

* 1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)				報告患者数				保健所別				(2026年第41週				10月5日～10月11日)									
保健所		インフル エンザ #1	新型コロナ ウイルス 感染症	急性呼吸器 感染症	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス 感染症 (入院)		
全 県	報告数	3,695	501	19,277	205	16	157	373	27	148	7	25	213	7	3	15	-	-	23	1	-	33	8		
	定点当たり	20.99	2.85	110.15	1.85	0.14	1.41	3.36	0.24	1.33	0.06	0.23	1.92	0.06	0.07	0.35	-	-	1.92	0.08	-	2.75	0.67		
朝 霞	報告数	541	94	1,747	16	1	9	25	4	14	3	2	13	1	-	5	-	-	1	-	-	2	2		
	定点当たり	33.81	5.88	109.19	1.60	0.10	0.90	2.50	0.40	1.40	0.30	0.20	1.30	0.10	-	1.00	-	-	1.00	-	-	2.00	2.00		
鴻 巣	報告数	322	54	3,337	18	3	23	23	2	10	1	1	17	1	1	1	*	*	*	*	*	*	*		
	定点当たり	26.83	4.50	278.08	2.57	0.43	3.29	3.29	0.29	1.43	0.14	0.14	2.43	0.14	0.33	0.33	*	*	*	*	*	*	*		
東 松 山	報告数	51	4	374	-	-	3	30	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	3	-		
	定点当たり	12.75	1.00	93.50	-	-	1.00	10.00	-	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00	-	-	3.00	-		
秩 父	報告数	42	11	113	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-		
	定点当たり	10.50	2.75	28.25	-	-	1.33	-	-	-	0.33	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-		
本 庄	報告数	28	6	173	-	-	1	-	-	2	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-		
	定点当たり	7.00	1.50	43.25	-	-	0.33	-	-	0.67	-	-	2.67	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00	-		
熊 谷	報告数	102	15	788	5	4	4	21	-	13	-	2	11	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-		
	定点当たり	11.33	1.67	87.56	1.00	0.80	0.80	4.20	-	2.60	-	0.40	2.20	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-		
加 須	報告数	107	11	182	1	-	7	-	-	2	-	-	5	-	-	1	-	-	1	-	-	2	1		
	定点当たり	21.40	2.20	45.50	0.33	-	2.33	-	-	0.67	-	-	1.67	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-	2.00	1.00		
春 日 部	報告数	124	14	904	6	1	7	27	-	5	-	2	4	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*		
	定点当たり	20.67	2.33	150.67	2.00	0.33	2.33	9.00	-	1.67	-	0.67	1.33	0.33	-	-	*	*	*	*	*	*	*		
幸 手	報告数	313	46	1,425	17	-	12	18	2	5	-	-	15	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*		
	定点当たり	34.78	5.11	158.33	3.40	-	2.40	3.60	0.40	1.00	-	-	3.00	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*		
坂 戸	報告数	44	18	390	3	-	-	18	-	2	-	1	1	1	-	-	-	-	3	1	-	3	2		
	定点当たり	11.00	4.50	97.50	1.00	-	-	6.00	-	0.67	-	0.33	0.33	0.33	-	-	-	-	3.00	1.00	-	3.00	2.00		
草 加	報告数	291	46	1,032	15	-	7	23	2	8	-	2	11	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*		
	定点当たり	26.45	4.18	93.82	2.14	-	1.00	3.29	0.29	1.14	-	0.29	1.57	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*		
狭 山	報告数	319	56	1,136	22	3	12	24	2	17	1	4	23	1	2	1	-	-	3	-	-	4	-		
	定点当たり	24.54	4.31	87.38	2.20	0.30	1.20	2.40	0.20	1.70	0.10	0.40	2.30	0.10	0.40	0.20	-	-	3.00	-	-	4.00	-		
南 部	報告数	92	7	696	9	-	14	23	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	2	-		
	定点当たり	18.40	1.40	139.20	3.00	-	4.67	7.67	-	0.67	-	-	-	0.33	-	-	-	-	1.00	-	-	2.00	-		
川 越 市	報告数	175	6	1,032	2	-	10	13	2	20	-	4	15	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*		
	定点当たり	19.44	0.67	114.67	0.40	-	2.00	2.60	0.40	4.00	-	0.80	3.00	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*		
越 谷 市	報告数	84	16	650	1	-	1	12	3	7	-	1	3	-	-	-	-	-	3	-	-	3	2		
	定点当たり	10.50	2.00	81.25	0.20	-	0.20	2.40	0.60	1.40	-	0.20	0.60	-	-	-	-	-	3.00	-	-	3.00	2.00		
川 口 市	報告数	392	34	1,332	31	1	11	54	1	15	-	2	30	-	-	4	-	-	-	-	-	1	1		
	定点当たり	28.00	2.43	95.14	3.88	0.13	1.38	6.75	0.13	1.88	-	0.25	3.75	-	-	1.00	-	-	-	-	-	1.00	1.00		
さいたま市	報告数	668	63	3,966	59	3	32	62	9	22	1	4	57	1	-	3	-	-	9	-	-	10	-		
	定点当たり	15.53	1.47	92.23	2.11	0.11	1.14	2.21	0.32	0.79	0.04	0.14	2.04	0.04	-	0.33	-	-	9.00	-	-	10.00	-		

(- : 0.00)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

10月

13 日

13:45 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)				報 告 患 者 数				年 齢 別				(2026年第41週				10月5日～10月11日)							
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～		
インフルエンザ #1	3,695	6	35	87	124	156	191	224	270	220	210	194	605	200	185	221	259	247	127	82	52		
新型コロナウイルス感染症	501	3	5	13	8	21	9	12	11	14	11	11	107	35	41	45	34	42	38	23	18		
	合計	0歳		1-4				5-9					10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～		
急性呼吸器感染症	19,277	1,092		6,257				4,590					2,257	953	774	852	729	690	469	354	260		
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～								
RSウイルス感染症	205	18	39	85	40	14	5	1	-	1	2	-	-	-	-								
咽頭結膜熱	16	-	1	3	-	2	3	1	1	3	-	-	2	-	-								
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	157	-	-	3	10	18	24	9	16	14	14	15	21	3	10								
感染性胃腸炎	373	4	34	36	29	37	42	27	26	23	25	23	42	12	13								
水痘	27	-	-	2	1	1	5	4	1	3	2	-	6	1	1								
手足口病	148	2	9	49	34	21	11	7	3	5	1	3	2	-	1								
伝染性紅斑	7	1	-	-	1	1	2	2	-	-	-	-	-	-	-								
突発性発しん	25	-	5	14	4	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-								
ヘルパンギーナ	213	2	18	47	34	39	23	18	11	3	3	2	9	1	3								
流行性耳下腺炎	7	-	-	-	-	1	1	1	1	1	1	-	1	-	-								
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～			
急性出血性結膜炎	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-			
流行性角結膜炎	15	-	-	1	2	-	-	1	-	-	-	-	1	1	-	3	2	3	1	-			
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～						
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
マイコプラズマ肺炎	23	-	5	7	7	-	1	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-						
クラミジア肺炎 #3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
インフルエンザ(入院)	33	2	2	4	1	-	2	-	-	-	1	-	2	2	-	1	16						
新型コロナウイルス感染症(入院)	8	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4						

※ 表中の数値は各定点からの報告数（-：0）

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第38週 (9月14日～9月20日)

令和8年10月14日

<全国情報>

急性呼吸器感染症定点報告疾患(報告定点数:3,705):インフルエンザの定点当たり報告数は第26週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は沖縄県(26.27)、東京都(15.21)、愛知県(15.12)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は752例と前週と比較して増加した。都道府県別では45都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(19例)、1～9歳(185例)、10代(40例)、20代(12例)、30代(7例)、40代(17例)、50代(41例)、60代(74例)、70代(135例)、80歳以上(222例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第34週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は埼玉県(5.87)、長野県(5.55)、栃木県(4.72)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は319例と前週と比較して増加した。都道府県別では44都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(26例)、1～9歳(66例)、10代(3例)、20代(7例)、30代(8例)、40代(7例)、50代(13例)、60代(19例)、70代(50例)、80歳以上(120例)であった。急性呼吸器感染症(報告定点数:3,693)定点当たり報告数は第34週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は埼玉県(109.57)、群馬県(104.36)、神奈川県(95.58)である。

小児科定点報告疾患(主なもの)(報告定点数:2,241):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は第35週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は和歌山県(3.41)、宮崎県(2.53)、群馬県(2.48)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は島根県(1.18)、佐賀県(1.00)、福岡県(0.84)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第34週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は愛媛県(6.33)、鳥取県(4.11)、茨城県(3.92)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は大分県(7.72)、石川県(7.18)、福井県(6.64)である。水痘の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は大分県(1.17)、福島県(0.61)、神奈川県(0.46)である。手足口病の定点当たり報告数は第30週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は長野県(4.30)、福井県(3.48)、奈良県(3.30)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は徳島県(0.29)、群馬県(0.16)、香川県(0.15)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第35週以降増加が続いており、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は群馬県(6.24)、静岡県(3.12)、神奈川県(2.93)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は石川県(0.11)、愛媛県(0.10)である。

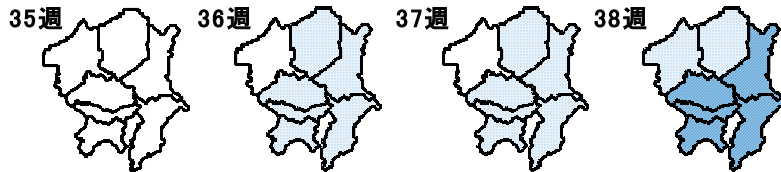
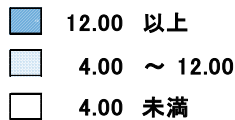
基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は香川県(3.20)、群馬県(2.22)、京都府(1.43)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は減少した。2都道府県から2例報告があり、年齢群別では5～9歳(1例)、10代(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2026年 第38週(9月14日～9月20日):通巻第28巻 第38号

<関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、東京都(15.21)、神奈川県(14.71)、千葉県(14.36)、埼玉県(13.56)、茨城県(13.47)からの報告が多い。

インフルエンザ



2026年 38週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	31,428	15,990	916	263	286	2,333	2,484	6,281	3,427
	定点当たり	8.48	13.89	13.47	5.60	6.36	13.56	14.36	15.21	14.71
新型コロナウイルス感染症	報告数	9,826	4,177	249	222	189	1,009	489	1,207	812
	定点当たり	2.65	3.63	3.66	4.72	4.20	5.87	2.83	2.92	3.48
急性呼吸器感染症	報告数	245,111	99,442	5,473	4,222	4,696	18,846	13,439	30,783	21,983
	定点当たり	66.37	86.70	80.49	89.83	104.36	109.57	77.68	74.72	95.58
RSウイルス感染症	報告数	2,787	934	29	38	62	178	91	375	161
	定点当たり	1.24	1.33	0.76	1.41	2.48	1.63	0.87	1.44	1.15
咽頭結膜熱	報告数	570	101	6	1	6	25	9	41	13
	定点当たり	0.25	0.14	0.16	0.04	0.24	0.23	0.09	0.16	0.09
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	3,320	1,108	149	59	48	216	185	300	151
	定点当たり	1.48	1.57	3.92	2.19	1.92	1.98	1.76	1.15	1.08
感染性胃腸炎	報告数	8,300	2,671	129	49	144	459	313	1,148	429
	定点当たり	3.70	3.79	3.39	1.81	5.76	4.21	2.98	4.42	3.06
水痘	報告数	496	173	10	2	4	25	18	50	64
	定点当たり	0.22	0.25	0.26	0.07	0.16	0.23	0.17	0.19	0.46
手足口病	報告数	3,039	989	80	58	38	148	173	317	175
	定点当たり	1.36	1.40	2.11	2.15	1.52	1.36	1.65	1.22	1.25
伝染性紅斑	報告数	78	28	2	1	4	1	10	6	4
	定点当たり	0.03	0.04	0.05	0.04	0.16	0.01	0.10	0.02	0.03
突発性発しん	報告数	662	211	10	17	7	31	22	84	40
	定点当たり	0.30	0.30	0.26	0.63	0.28	0.28	0.21	0.32	0.29
ヘルパンギーナ	報告数	2,923	1,358	20	23	156	143	81	525	410
	定点当たり	1.30	1.93	0.53	0.85	6.24	1.31	0.77	2.02	2.93
流行性耳下腺炎	報告数	96	30	-	-	1	4	6	9	10
	定点当たり	0.04	0.04	-	-	0.04	0.04	0.06	0.03	0.07
急性出血性結膜炎	報告数	4	2	-	-	-	2	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	0.05	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	421	80	14	7	2	22	3	16	16
	定点当たり	0.63	0.43	0.82	0.58	0.20	0.52	0.13	0.42	0.37
細菌性髄膜炎 #2	報告数	10	3	-	-	-	-	1	2	-
	定点当たり	0.02	0.03	-	-	-	-	0.11	0.08	-
無菌性髄膜炎	報告数	22	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	263	70	9	6	20	16	3	13	3
	定点当たり	0.55	0.80	0.69	0.86	2.22	1.33	0.33	0.52	0.25
クラミジア肺炎 #3	報告数	6	2	-	-	-	-	-	2	-
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	-	-	0.08	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	報告数	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

全国・関東情報

第39週 (9月21日～9月27日)

令和8年10月14日

<全国情報>

急性呼吸器感染症定点報告疾患(報告定点数:3,723):インフルエンザの定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は沖縄県(42.50)、埼玉県(14.17)、茨城県(12.50)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は859例と前週と比較して増加した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(26例)、1～9歳(204例)、10代(52例)、20代(15例)、30代(12例)、40代(12例)、50代(33例)、60代(82例)、70代(150例)、80歳以上(273例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は埼玉県(2.87)、長野県(2.24)、岐阜県(2.22)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は257例と前週と比較して減少した。都道府県別では46都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(13例)、1～9歳(34例)、10代(6例)、20代(2例)、30代(5例)、40代(4例)、50代(10例)、60代(20例)、70代(60例)、80歳以上(103例)であった。急性呼吸器感染症(報告定点数:3,711)定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は埼玉県(75.42)、沖縄県(71.20)、群馬県(59.91)である。

小児科定点報告疾患(主なもの)(報告定点数:2,245):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は宮崎県(2.73)、福井県(2.52)、和歌山県(2.04)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(0.61)、宮崎県(0.53)、福岡県(0.51)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は茨城県(1.79)、鳥取県(1.58)、山口県(1.45)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(4.08)、福井県(4.04)、大分県(3.92)である。水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は大分県(0.58)、山形県(0.31)、青森県(0.30)である。手足口病の定点当たり報告数は第30週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は福井県(2.92)、長野県(2.25)、奈良県(1.78)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は徳島県(0.29)、新潟県(0.17)、秋田県(0.08)、山形県(0.08)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は群馬県(2.64)、静岡県(1.47)、神奈川県(1.20)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位2位は秋田県(0.08)、栃木県(0.08)、香川県(0.08)、沖縄県(0.08)、神奈川県(0.07)である。

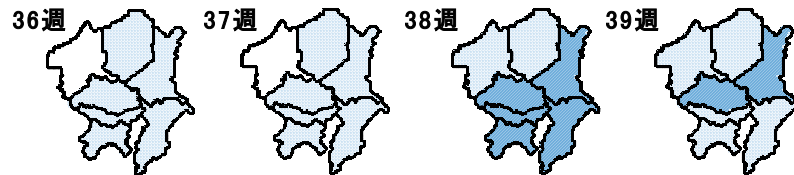
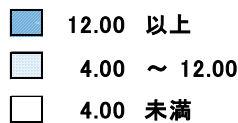
基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は香川県(3.60)、群馬県(1.89)、新潟県(1.54)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は2週連続で減少した。群馬県から1例報告があり、年齢群別では0歳であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2026年 第39週(9月21日～9月27日):通巻第28巻 第39号

<関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、埼玉県(14.17)、茨城県(12.50)からの報告が多い。

インフルエンザ



2026年 39週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数 26,678 定点当たり 7.17	11,572 9.87	850 12.50	209 4.54	246 5.47	2,465 14.17	1,767 9.76	3,965 9.51	2,070 8.59
新型コロナウイルス感染症	報告数 4,671 定点当たり 1.25	1,830 1.56	99 1.46	90 1.96	57 1.27	499 2.87	244 1.35	535 1.28	306 1.27
急性呼吸器感染症	報告数 155,282 定点当たり 41.84	60,212 51.46	3,755 55.22	2,321 50.46	2,696 59.91	13,123 75.42	8,076 44.62	18,089 43.38	12,152 50.85
RSウイルス感染症	報告数 1,882 定点当たり 0.84	642 0.90	38 1.00	22 0.85	34 1.36	133 1.22	71 0.65	225 0.86	119 0.84
咽頭結膜熱	報告数 329 定点当たり 0.15	68 0.10	-	-	9 0.36	15 0.14	7 0.06	17 0.06	20 0.14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数 1,625 定点当たり 0.72	527 0.74	68 1.79	28 1.08	15 0.60	126 1.16	98 0.90	101 0.38	91 0.65
感染性胃腸炎	報告数 4,990 定点当たり 2.22	1,562 2.20	82 2.16	34 1.31	88 3.52	304 2.79	184 1.69	630 2.40	240 1.70
水痘	報告数 350 定点当たり 0.16	119 0.17	5 0.13	2 0.08	6 0.24	29 0.27	9 0.08	27 0.10	41 0.29
手足口病	報告数 1,685 定点当たり 0.75	588 0.83	27 0.71	29 1.12	16 0.64	93 0.85	114 1.05	176 0.67	133 0.94
伝染性紅斑	報告数 53 定点当たり 0.02	16 0.02	-	-	-	2 0.02	1 0.01	8 0.03	5 0.04
突発性発しん	報告数 428 定点当たり 0.19	132 0.19	9 0.24	7 0.27	3 0.12	26 0.24	15 0.14	44 0.17	28 0.20
ヘルパンギーナ	報告数 1,330 定点当たり 0.59	635 0.89	32 0.84	18 0.69	66 2.64	86 0.79	50 0.46	214 0.81	169 1.20
流行性耳下腺炎	報告数 63 定点当たり 0.03	31 0.04	-	2 0.08	-	4 0.04	3 0.03	12 0.05	10 0.07
急性出血性結膜炎	報告数 1 定点当たり 0.00	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数 350 定点当たり 0.51	68 0.33	6 0.35	7 0.64	1 0.10	13 0.30	4 0.12	11 0.28	26 0.53
細菌性髄膜炎 #2	報告数 8 定点当たり 0.02	1 0.01	-	-	-	1 0.08	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数 24 定点当たり 0.05	2 0.02	-	-	-	1 0.08	-	-	1 0.09
マイコプラズマ肺炎	報告数 247 定点当たり 0.52	68 0.79	8 0.62	1 0.14	17 1.89	15 1.25	3 0.33	18 0.72	6 0.55
クラミジア肺炎 #3	報告数 5 定点当たり 0.01	2 0.02	-	-	-	1 0.08	-	1 0.04	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	報告数 1 定点当たり 0.00	1 0.01	-	-	1 0.11	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(--:0.00)

感染症発生動向調査 2026年

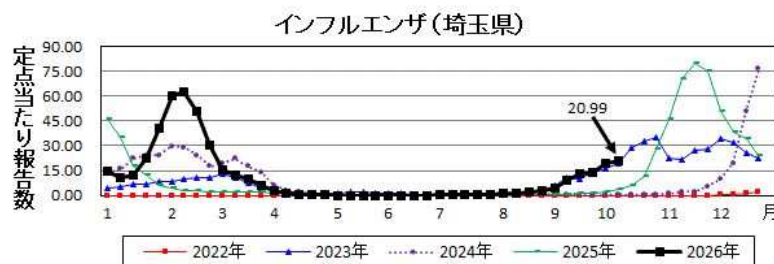
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第1週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第2週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第3週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第4週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第5週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第6週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第7週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第8週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第9週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第10週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第11週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第12週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第13週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第14週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第15週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第16週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第17週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第18週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第19週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第20週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第21週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第22週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第23週](#)

感染症の流行状況 2026年 第41週

2026年第41週（10月5日～10月11日）の要点

定点把握対象疾患（[インフルエンザ](#)）

定点当たり報告数は、前週と比較してわずかに増加しました。



感染予防のため、[咳エチケット](#)、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心掛けてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。

感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↑	★★	手足口病	→	★★
新型コロナウイルス感染症	→	—	伝染性紅斑（りんご病）	→	★
急性呼吸器感染症	↑	—	突発性発しん	→	★
RSウイルス感染症	↑	★★	ヘルパンギーナ	↑	★★
咽頭結膜熱（プール熱）	→	★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
感染性胃腸炎	→	★	流行性角結膜炎	→	★
水痘（みずぼうそう）	→	★			

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい→★、★★、★★★→大きい）*4.2025年第14週から定点医療機関の指定数に変更となりました。疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。
この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。
また、全国の感染症発生動向状況については、国立健康危機管理研究機構のホームページ「[感染症情報提供サイト](#)」でご覧になれます。



埼玉県のマスコット コバトン